

# 技術展示



注目技術賞審査委員長  
**森戸 義貴**  
[近畿地方整備局企画部長]

「建設技術展2018近畿」では、時代のニーズに応えた「安全・安心」、「IT・ICT」、「コスト縮減」、「維持・更新」など9つの分野を掲げ、それに対して179の出展者から217のブースで様々な建設技術の紹介が行われました。

また、建設技術の出展だけでなく、最新の話題を提供するイベントも多数開催されました。南海トラフ巨大地震に対する初動対応と応急復旧の仕組みづくり、関西を日本のリーディングエリアとするため必要なインフラ整備、さらに今回初開催となった地域企業の海外展開支援に関するフォーラムなど、建設産業が国民の生命・財産を災害から守り、地域経済の発展への貢献のみならず、海外への進出を図ることで、建設産業の未来が展望できることを来場者に向けて発信されました。

来場者は1万6千人に迫り、企業・発注者だけでなく、

建設業の将来を担う学生も訪れるなど、日本でも有数の技術イベントとなっています。

次に、技術展示の表彰については、建設産業の一層の発展に寄与できるものばかりでしたが、注目技術賞・審査委員特別賞として「技術の先進性」、「効果」、「活用性」の観点から近畿のみならず全国で活用していけるような、今後注目していきたい技術を選ばせて頂きました。そのほか、来場者の投票により選ばれるベストブース賞は、展示技術が優秀な事はもちろん、来場者の関心を集めるため、展示方法についても工夫を凝らしたブースが選ばれました。

今後も、産学官が連携して建設技術展を盛り上げていくことにより、建設技術の開発・活用を促進し、国民の安全・安心や活力ある国土の発展に貢献することを期待いたします。

## 注目技術賞

### 協同組合Masters 地盤環境事業部会 土留部材引抜同時充填工法研究会

#### 土留部材引抜同時充填工法

近接工事や堤防において鋼矢板等を安心して引き抜けるオンリーワン技術!軟弱地盤や堤防において仮設材にて土留めを行う場合には、土留め杭引抜後の影響が大きいため、本工法は非常に有効な技術です。従来、鋼矢板残置を前提としていた民家や地下埋設物などに近接した工事において、コスト削減と事業損失防止に役立ちます。水中での施工も可能な工法です。尚、鋼矢板引抜きと同時に充填すること、1本の充填管で複数枚の鋼矢板を引抜くことは、この工法以外で行うと特許に抵触します。



施工実績 (2018年6月末)

Tel 090-7575-6025 <https://www.hikinuki.jp/>

## 審査委員特別賞

### (株)リンク

#### 支柱路面境界部調査システム キズミー1

近年、全国各地で鋼製の照明柱、標識柱、信号柱等(以下、鋼製支柱)の倒壊や劣化した標識柱に、車両が接触し倒壊するなどの人的被害や車両事故が多数報告されています。これらの多くは高度成長期にインフラ整備の一環として、鋼製支柱の埋設が行われましたが、経年による腐食による減肉や、繰り返し応力による材料割れなどが原因と思われる。早急な、鋼製支柱の調査及びメンテナンスが必要となっています。《支柱路面境界部調査システムキズミー1の特徴》

- 掘削せずに鋼製支柱埋設部の腐食調査が可能
- 約2名の調査員で行うため道路規制等が削減可能
- 教育を受けることで現場技術者が調査可能
- 簡易型超音波調査装置なので持ち運びが容易



支柱路面境界部調査システム キズミー1

Tel 072-257-8730 <http://www.kklink.co.jp>

## 注目技術賞

### (株)大特

#### 仮設ステージ 大特ストラクチャー

大特ストラクチャーは、重量物の移設ステージ架台や災害時の仮設橋、屋外やクリーンルームなど重機の立ち入りが困難な場所での仮設ステージなど、建設現場での作業構台としてあらゆる分野で活躍します。特徴としては、アルミ铸造により継ぎ目のない最大荷重40t以上の耐荷重を実現した上、軽量(1台14kg)で、短時間且つ手組みで仮設ステージを完成できることにより工事日数や人件費を大幅に削減することができます。近年、建築足場の組立・解体時に転落や強風で倒壊など事故が多発していますが、地上で積み木のように立ち上げるので安全且つ転落の心配もありません。1000分の5mmの精度で研磨、立ち上がりもブレません。そして特許庁が取り組む知財評価書も高評価を得ております。



標準サイズ一例 300×300×900(mm)

Tel 072-802-3100 <https://www.daitokustructure.com/>

## 審査委員特別賞

### Made in 新潟 新技術普及・活用制度

#### Made in 新潟 新技術普及・活用制度

新潟県では、県内企業が開発した建設分野の新技術を広く情報公開し、新技術の普及と活用を促進しています。本制度では、新技術を安心して使ってもらえるよう、登録時や活用時の評価など各段階で有識者委員会の審査を受け、その結果をHPで公開しています。今回は、登録技術(約190技術)の中から、皆様のお役に立てる新技術を保有する5社と共同で出展しました。



Made in 新潟 新技術普及・活用制度 ロゴマーク

Tel 025-280-5391 <http://www.shingijutu-niigata.jp/>

## 注目技術賞

展示された技術の中から、「技術の先進性」、「効果」、「活用性」の観点から公共事業の事業主体者が審査選定した「注目すべき技術」に贈られます。

## 審査委員特別賞

審査員による投票で、注目技術賞に選ばれなかったものの、技術の独創性やアイデア、先進性など今後、期待される技術について、審査委員会が特別に推薦したものに贈られます。

## ベストブース賞

一般来場者に最も関心の高かったブースに投票していただき、得票数が最も多かったブースに贈られます。

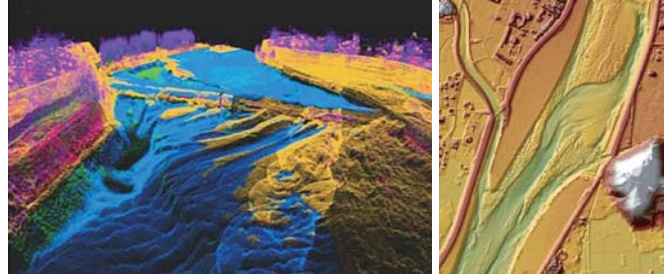


## 注目技術賞

### (株)パスコ

#### 航空レーザ深淺測量(ALB)

水面下の地形を航空レーザで取得する技術。航空機から緑色レーザを照射し、従来はできなかった、水面の地形を面的に取得する計測手法です。



航空レーザ深淺測量(ALB)

吉野川の河床形状

Tel 06-6630-1902 <https://www.pasco.co.jp/>

## ベストブース賞

### JFEグループ

今年も非常に多くの方々にJFEグループのブースへお越しいただき、誠にありがとうございました。また、日刊建設工業新聞社様、近畿建設協会様をはじめ関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。当社Grは今年も8社共同で「明日を創る、未来を拓く、JFE」をスローガンに、新商品や工法を出展いたしました。期せずして、昨年まで3年連続ベストブースに選んでいただいた事もあり、その名に恥じぬよう、パネルへのカラーLED活用等、新たな試みをいくつか実施いたしました。こうした工夫が皆様の目に留まり、再度選んでいただきました事を大変嬉しくしております。来年度も、今回以上の商品・技術・ブースで「5年連続」にチャレンジさせていただきます!



## 出展者名

防災	施工	IT・ICT
SDP工法研究会	アンダーパス技術協会	アジア航測(株)
KTB協会/PCフレーム協会	安藤ハザマ	(株)アスコ大東
ケミカルグラウト(株)	SGM軽量土工法協会	(株)ウエスコ
(株)建設技術研究所	(株)大林組	(株)エイテック
国土環境緑化協会連合会/日本植生(株)	(株)オクノコト	エヌティティ・インフラネット(株)
災対新技術研究会	奥村組土木興業(株)	/ (株)NTTデータ関西
三信建設工業(株)	鹿島建設(株)	(株)奥村組
Geo BANK工法研究会	(株)加藤建設	(株)オリエンタルコンサルタンツ
(一社)全国圧入協会	川上産業(株)	(株)きんそく
(株)開発システム研究所	関西鉄筋工業協同組合/近畿建設躯体工業協同組合/日本プラスチック型枠工業会/関西圧接協同組合	クモスコ・ボレーション(株)
(株)ダイカ	五洋建設(株)	計測ネットワークサービス(株)
中央開発(株)	(株)山陽測器	国際航業(株)
東亜グラウト工業(株)	清水建設(株)	佐藤工業(株)
東興ジオテック(株)	(一社)セイティーフラット工法協会	スマートウェイ近畿地方協議会
東洋建設(株)	大成建設(株)	(一)先端建設技術センター
飛鳥建設(株)	(株)竹中道路	大日コンサルタント(株)
西松建設(株)	(株)竹中土木	中央復建コンサルタント(株)
(株)ニチソウテック	W*PR工法協会 近畿支部	横浜スコ
日特建設(株)	TRD工法協会	日立建機日本(株)
ハイジュールネット工法研究会	鉄建建設(株)	(株)日立システムズ
復建調査設計(株)	岡部(株)	エン지니어リングサービス
(株)不動テトラ	東急建設(株)	福井コンピュータ(株)
フリーフレーム協会 近畿支部/岡部(株)	東洋スタビ	(株)MetaMoJi
プレストネット工法協会	PC-壁体工業会	(株)レックス
矢作建設グループ	Head-bar工法協会	
山田技研(株)	(株)マルホウ	
ライト工業(株)	三井住友建設(株)	
和歌山県/アートコンクリート工業(株)/術クスベ産業/(株)ケイエフ/(株)タニガキ建工/フリー工業(株)		

## 団体

(一)建設業技術者センター  
(一社)建設コンサルタント協会  
近畿支部  
(一)建設物価調査会  
国土交通省 近畿地方整備局  
近畿技術事務所

国土交通省 近畿地方整備局  
神戸港湾空港技術調査事務所  
(一社)日本橋梁建設協会  
(一社)日本建設機械施工協会  
関西支部  
(一)日本建設情報総合センター(JACIC)  
阪神高速道路(株)/  
阪神高速技術(株)/  
阪神高速技術(株)  
(一)阪神高速道路技術センター  
(一)プレストレストコンクリート建設業協会 関西支部

## 学校

大阪市立都島工業高等学校  
京都市立京都工学院高等学校  
神戸市立工業高等専門学校  
国立明石工業高等専門学校  
国立舞鶴工業高等専門学校  
大阪工業大学  
関西大学  
環境都市工学部 都市システム工学科  
関西大学  
先端科学技術推進機構  
京都大学大学院  
工学研究科 社会基盤工学専攻  
京都大学大学院  
工学研究科 都市社会工学専攻  
神戸大学  
神戸大学大学院  
摂南大学  
NPO法人 関西橋梁維持管理  
一大学コンソーシアム

